



芸術文化創造センター市民ワーキング 第2回 管理運営部会 かわら版

《作成・発行》
小田原市
文化部文化政策課
& 空間創造研究所
平成 25 年 9 月 10 日

第2回 管理運営部会

8月17日、小田原市民会館 第3会議室にて、「芸術文化創造センター管理運営部会 第2回市民ワーキング」が行われました。市民メンバー16名、(女性6名、男性10名)、市の事務局スタッフ11名、設計者である新居千秋都市建築設計から2名、その他の事務局スタッフ3名、専門委員会から井上委員、合計49名が参加しました。市民ワーキング「第2回管理運営部会」の当日の様子や、皆さまから示されたご意見をご紹介します。

第2回管理運営部会概要

～舞台系の事業について～

- 井上委員から、厚木市文化会館で実施された30年間の事業展開と市民参加の取り組みについて、レクチャーがありました。
- 2班に分かれ、基本計画で定められた7つの基本方針(【育成事業】【鑑賞事業】【参加事業】【地域発信事業】【交流事業】【にぎわい創出事業】【施設提供事業】)のそれぞれで、音楽・演劇・伝統芸能などの舞台系事業について、どのような事業が考えられるかを検討しました。
- 昨年度までの市民検討で挙げられた事業の意見や、他の施設で行っている事業も踏まえて、挙げられた意見の中から「特に重点的に取組んでいく事業」を考えました。また、具体的な事業案がある方は「事業アイデアシート」に“場所”“対象者”“内容”を記入しました。
- 最後に各班の議論内容の発表を行い、全員で議論の内容を共有し、井上委員からコメントをいただきました。



～ 舞台系の事業紹介 ～ 厚木市文化会館の事業について

井上委員が館長を務めていた「厚木市文化会館」について、1978年の開館から今日までの事業のあゆみを市民との関わりを中心に紹介していただきました。また、芸術文化創造センターで事業を実施するために、配慮が必要な点について、アドバイスをいただきました。

【厚木市文化会館の市民参加創造事業】

開館～10年	オペラ、歌舞伎、オーケストラ公演の他、市民団体の育成に力を入れ、「市民オーケストラ」、「市民合唱団」の支援。学校や子ども向けの芸術鑑賞会を実施。
10年～20年	10周年記念事業として「舞踊『厚木六勝』」を創作。地域の伝統芸能の普及支援や地域の子どもの主役となるミュージカルに挑戦。「相模人形芝居」(鑑賞、支援、創作)、「宮城まり子とかがやくこどもたち」、「サカモトファミリーミュージカル」、「厚木交響楽団ガラコンサート」などの制作上演。
20年～30年	20周年記念事業として、厚木在住のプリマに協力を得て、市民公募によるパレエ「くろみ割り人形」を制作上演。厚木高校出身の演出家、横内謙介氏(劇団扉座主宰)を中心にした演劇事業「厚木シアタープロジェクト」をスタート。リニューアル工事の実施。「ジュニアコーラスの育成」、「ハーモニカの街あつぎ」、「厚木ジャズ祭」、「ダンスフェスティバル」、「リコーダーアンサンブル」、「レクチャー&コンサート」など
30年～	30周年記念事業としてオペラ、歌舞伎、オーケストラ公演の他、厚木出身の歌手等と市民によるオリジナル音楽劇「リバーソング」を創作。「あつぎ舞台アカデミー」「KIDSコース」を開設。

- ・ トップが替わっても方向性がぶれない仕組みをつくること(市民応援団など)
- ・ 子どもを育てていく取り組みや、創造事業などのソフト事業を積み重ねること
- ・ 10年以上かけて文化的な都市を実現していくために、スタッフの熱意や意欲を持続させることが大切

【芸術文化創造センターに求めるもの】(※井上委員の提案)

ステージと同じ広さの稽古場/オーケストラピットの活用/日本の伝統芸能(能狂言、歌舞伎、文楽、舞踊、落語等)/備品類、備品庫、楽器、楽器庫/ホールの残響時間/電源、放送対応(ケーブル類の引き込み、駐車スペース)、ネット対応/小田原特有の文化への対応/全国規模のイベント対応(合唱コンクール、吹奏楽コンクール、ダンスコンクール(本舞台、サブ2～3施設、楽器置き場)など)

1班

～主な発表内容～

既存の市民団体(ダンス、邦楽、ミュージカル、ロックなど)による舞台作品の創作/小田原らしいイベント(外郎売、灯り)/鑑賞事業を自主事業として実施/展示系の事業時に、フォーラムやワークショップを中スタジオ・小スタジオで実施/若い人から高齢者まで参加できるアンデパンダン展を開催/小田原楽友協会や合唱団などと一緒にオペラの公演/子どもによる合唱公演/大学生対象のアートマネジメント事業/良質な公演を生で子どもたちが体験できる事業/小田原オリジナルの市民ミュージカルや市民オペラ/新しい観客を育てる事業/芸大や音大などとセンターが提携するような芸術大学との連携事業

井上委員からのコメント

- ・ 市民オペラを実現させるには、10年、20年の長い期間を見据えていくことが必要です。オーケストラや合唱団を育成し、小さいステージから徐々に積み重ねて、制作スタッフの制作能力も育てていけるとよいですね。
- ・ 小田原ならではの題材がたくさんあるので、外郎売などを育てていけるとおもしろいですね。
- ・ 子どもには本物を見せなくてはいいけません。お金はかかるが、本物に触れさせないと育たないので、そのような事業を継続していくことが必要です。



2班

～主な発表内容～

若い人を育てていくこと/センターを拠点として既存の文化施設の情報を発信/地域の高校演劇を盛り上げる育成事業。開館5年後に高校演劇の全国大会を小田原で招致(小田原は20年前程に高校演劇が盛んであった)/地域の若い人や全国から観客を呼べるようなドラゴンクエストやエヴァンゲリオンクラシックコンサートを公演/文化政策における一般理論を整理してほしい/ワークショップなど、事業の目標をつくる必要/子どもだけでなく大人にもレクチャーコンサートは必要/小田原の人材をいかしたイベントを企画(大藤信郎氏(アニメ)、呉清源氏(囲碁))/プラスバンドの全国大会を開催するために、控室となる大・中スタジオが必要/全国に発信する事業の開催/白秋童謡を全国へ発信(全国規模のコンクール)/ピオラやチェロ、コントラバスのコンクールを開催

井上委員からのコメント

- ・ 芸術文化創造センターを中心として小田原から文化を発信していくことが重要です。
- ・ 市内にはお城や歴史など芸術文化の要素がたくさんあるので、それを活かして事業を実施できるといいですね。
- ・ 高校生など若い世代への育成事業は良いですね。厚木市文化会館の芸術監督の横内謙介さんは全国の高校演劇で第2位をとり、会館で上演したことが現在のシアタープロジェクトなどの事業につながっています。高校生からの関わりが地域の財産になるということもあり得るのです。
- ・ 若い人が集うようなコンクールなどの機会を多くつくり、演劇も音楽もダンスもあり、今までにない劇場になっていくといいですね。



皆さまのご意見（ワークシートのふせん内容）を全て掲載します

※ご意見は基本的にワークシートのとおり掲載していますが、適宜誤字・脱字の修正を行っています。

1班

1班	事業	場所	対象者	事業内容
育成事業	中スタジオ、小ホール	大学生	文化事業の企画実施のアートマネジメント教育プログラム。大学生主催の小中学生のアート創造活動への実施支援。プログラムに組み込む	
	大小スタジオ、大ホール	一般市民の子ども	子どもの感性の育成。創作ミュージカル(歌、ダンス、演技)。5年10年の育成プログラム。小田原の魅力「自然+文化」	
	大小ホール、大スタジオ		日本の伝統芸能は素晴らしいので次世代に受け継ぐためにもイベントをしてほしい	
	大小ホール、大中スタジオなど	子ども中心に小学生	小田原で現在活動している方たちで一つのステージを創る。レビュー等ジャンルを超えて構成できる作品	
	大ホール	市民(幼児から大人)	市民オペラ(創作の既成作品)上演に向けてワークショップ等での育成。ハイライト上演などから始め観客の育成。できればプロオケ。アマ(一般オーディション)	
	大ホール	市民(幼児から大人)	市民ミュージカル(創作の既成作品)上演に向けてワークショップ等での育成	
	大ホール	子どもたち	ミュージカルや音楽劇など参加型制作事業	
参加事業	大ホール	市民	市民オペラ、オケは楽友協会、合唱は市民合唱団、主役はプロで行う	
	すべて	子ども達から大学生まで	一つのステージを共同して作る。団体が協力して作る	
交流事業	大スタジオ	若手	演劇など、自ら作り上げる	
	スタジオ、ギャラリー、ロビー	お祭りイベント	小田原の灯りをいかにしての竿灯やねぶたを音呼んだが、小田原ちゃんをいかにしてのイベント	
鑑賞事業	大スタジオ	若者	いろいろな口上イベント。地域のホールには核となるイベントがあります。藤沢はオペラ、高円寺は落語、小田原は何を...。大ホールより小ホールを核にイベントをした方が年に〇回開催できる(例えばいろいろの口上大会を年に4回とか)	
	大スタジオ		現代作家のアート展示	
	大スタジオ		コンテンポラリーダンス	
	大小ホール	子ども	良質の舞台、演奏会、歌舞伎など生で観る機会。私自身が小学校で観た低レベルの音楽劇が原因で、ミュージカル、演劇が大嫌いでした	
	小ホール	一般	クラシックのリサイタル	
	大ホール		オーケストラ公演	
	大スタジオ		飲食できるジャズ公演	
	ホール外	一般(子どもから大人)	フィルムフェスタ。飲食しながら楽しめるもの。そこでオペラ・歌舞伎等の映像も上映し、生のステージへ誘導	
	小ホール		外部の著名なアーティストを呼ぶ時に注意したいのは一過性で終わることが多いので、いかに地元のアーティストと交流させ、つなぎ生かさせるか	
	大ホール	一般市民、映画ファン、オタク、歴史	一流のアーティストのコンサート 小田原アーカイブ映画祭(名画)withレクチャー、毎年テーマを決めて、名作を上映。著名・評論家・歴史家(時代背景や登場人物像から歴史を学ぶ)の講演、解説をコラボ	
「伝統芸能」団十郎との関わりイベント				
にぎわい創出事業	中スタジオ	観光客、近隣市民	小田原・箱根ベースキャンプ(名所を知る、ここから出かける)。小田原の見所のパネル紹介。小田原伝統芸能の定期的上演。小田原伝統芸能の定期的実演	
	大ホール		ファッションショー。車のショー。アーティストの展示とフォーラム	
		昨年1万人	いけばな展(小田原)。神奈川県書道展	
	イベントの中心の核となるホールであってほしい	小田原市民、小田原近隣、観光客等、幅広い対象者	まちなかアート展。文化観光として小田原の歴史的佇まいの場とホールをつなげるイベント。二の丸広場(三の丸広場)。銅門広場、馬出門広場、清閑亭、松永記念館、小田原文学館等を会場として新しい小田原らしい芸術文化の創造イベント。展示場所は幅広くする。WSをする。	
ホール外全域にての開催イベントとして行う	見る人も幅広く(観ることを加える。参加するジャンルは幅広く行う)	芸術文化祭(現市民文化祭) 1980年代頃は文化振興を行う意味での事業としてアンデパンダン展が行われたが、今は高齢化され、また世代だけの村から交流できない時代の中で、世代の交流と育成をテーマとしてのジャンルを超えてのアンデパンダン展を開催。絵画、彫塑、オブジェ、書、インスタレーション、パフォーマンス、映像など幅広い対応性のできるイベントとして開催。(アンデパンダン展。ジャンルを超えるので、展示系、パフォーマンス、映像すべてを含んでのものである。年齢を交流させる。ワークショップ等を大スタジオ、中スタジオで、フォーラムなどをホールにて		

今後のワーキング予定 ～管理運営実施計画策定までの流れ～

日時	概要
第1回*終了 7月20日	【管理運営】事業と市民参加1 ～自主事業について～ *主に展示系の事業について
第2回*終了 8月17日	【管理運営】事業と市民参加2 ～自主事業について～ *主に舞台系の事業について
8月26日 *終了	フィールドワーク *あつぎ舞台アカデミー稽古見学
9月10日	第2回 整備推進委員会 管理運営分科会 *ワーキング1.2のまとめ
9月14日	フィールドワーク *小田原市民会館大ホール、舞台周りの視察
第3回 9月14日	【管理運営】事業と市民参加3 ～市民参加創作事業について～ *小田原市でどのような市民参加事業が求められているか
第4回 10月19日	【管理運営】事業と市民参加4 ～運営への市民参加について～ *運営や市民参加事業に、市民中間支援団体がどのように関わるか
10月21日	第3回 整備推進委員会 管理運営分科会 *ワーキング3.4のまとめ
第5回 11月9日	【管理運営】管理運営ルール1 ～施設の管理運営ルール～ *予約方法や優先利用、減免の考え方について
第6回 11月23日	【管理運営】管理運営ルール2・3 ～諸室の管理運営ルール～ *第2回設計案をうけ、管理運営ルールを考える。
第7回 12月14日	*ホール、ギャラリー、スタジオなどの施設ごとに管理運営ルールを考える。
12月 (未定)	第4回 整備推進委員会 管理運営分科会 *ワーキング5.6.7のまとめ
第8回 1月18日	【管理運営】管理運営計画のまとめ *管理運営実施計画策定にむけて、これまでのまとめ。
2月 (未定)	○ 基本設計(最終案)発表 ○ 市民説明会
3月 (未定)	○ 基本設計決定 ○ 管理運営実施計画策定 ○ シンポジウムの開催(予定)

2班

2班	事業	場所	対象者	事業内容
育成事業	カフェ、レストラン			カフェスペースのチャレンジショップ。独立後は小田原で開業
			映画好き、障がい者	バリアフリー映画の作成とワーキング・上映。大藤信郎になぞって影絵、アニメ、コマドリアニメ
	小ホール、スタジオ、前庭		子ども	定期的なリストの子供向けのコンサート。各回毎に楽器を変えてそれぞれの楽器を知ってもらう。音大生や小田原出身の若手に依頼(演奏も育てる)
	大ホール		小・中・高校生	スタンウェイマラソンコンサート
	大ホール(リハ、本番)、小ホール等(合唱練習)		全国の若手音楽家、アマチュア合唱	カルメンやヘンゼルとグレーテルなど大人から子供まで出演するオペラを市民合唱団とプロの歌手(オーディション)により開催する
	大ホール		全市民	批評講座(終演後に批評をする講座) 批評より創造のほうがよるかに大切です。これは小田原のセンターの方向性です
	大ホール、中ホール		市民、県民	小田原演劇祭・高校演劇全国大会(全国の高校生)
				「◎子どもたちが本物を鑑賞できる事業」劇団四季や松竹系、宝塚歌劇団の鑑賞とワークショップを。大きい劇団じゃなくてもいいけど 「小田原芸術大学の創設」飛躍しすぎ 「オープン5年後に高校演劇全国大会を小田原に招致する」これいい。これを盛り上げる！学生による学生だけのゲキダン
	小ホール、大スタジオ、中スタジオ		小中学生	レクチャーコンサート・短時間・休憩無し(楽器に触れたりする体験含む)。忙しい子どもたちに優先度をあげてもらうにはどうしたらよいか。有料でも来るのか。速読講座、会員制、「中スタジオ」ex.ミュージアの市民交流室
	大スタジオ			センターステージでやる。(ファッションショーや青山円形劇場のような)平土間で制約なし自由使いたいからロールバック不要
ギャラリー			コンセプト写真展。コンセプトアート写真の写真に特化したものの大会(コンテスト)	
大ホール			小田原出身劇団、相模原舞台同盟の大ホール公演	
ホール			小田原の戦争アーカイブ作り、ドキュメンタリー上映、ワークショップ(映画製作)	
			「市民ミュージカル」いざれやりたい 「市民オペラ(十実現のためのワークショップ)」とりあえずのつかかりとして、横須賀市民ミュージカル(スカミュージー)を参考にしてみても？8月24、25日かな 「市民ボランティア」全体運営サポートも 「定期的な子どもたちのコンサート」小中合同音楽会 「◎文化や芸術を支える職能を備える市民を育てる事業」FMおだわらパーソナリティによる“ろう劇”をやったら楽しそう(いやもう明日にでもやるーつ)	
地域発信事業	ホール、前庭			城下町ランウェイ、服飾のワーキング、デザインコンテスト、デザインショー→足利銘仙のような目玉の開発。小田原原撃、服飾学校着物展
	大ホール(本選)、小ホール(予選)		全国のファミリー、職場、仲間等	小田原で生まれた白秋童謡を国中や街中で歌ってもらうため、気心の知れたファミリー、仲間等で白秋童謡を歌うコンクールを開催し、将来に渡って白秋童謡を歌い継いで行く
	中スタジオ、小スタジオ		市民	ラジオドラマの政策。小田原をテーマにした作品を作り、優秀なものはFMおだわらで放送。CDにして販売など。小田原の宝物をみんなで探して発信する
	大ホール、小ホール			小田原おでんコンテスト最終決戦大会！B-1グランプリみたいに
				「北原白秋、二宮尊徳など地元ゆかりの人物を題材とした事業(展示会など)」童謡再び 「戦争体験談アーカイブ映像」平和あつての現在、未来 「伝統芸能の公演や継承活動(相模原形芝居中座、民俗芸能、千人太鼓)」伝統芸能を大切に育てていかないとダメ。小田原伝統芸能フェスティバルいろいろ口上も含めたらダメですか？ 「小田原物産(小田原風鈴、ちょうちん、いもの、箱根細工、小田原彫り、小田原ブランドとしての芸術文化マーケット)」箱根細工、小田原彫り活用
	大ホール(本選)、小ホール(予選)		全国の青少年器楽合奏団	全国から学校にとらわれない楽器の合奏団を募集し、コンクールを開催する。弦楽や管楽の合奏団がコンクールに出場することにより目標が生まれ、演奏技術の向上を目指す ミュージックストリート等のミュージシャンが小田原の曲をつくり、映画祭のショートフィルムの監督が画をとり、市民が出演(するかしないかは監督次第)
	スタジオ、その他			3.11チャリティーバザー(定期的)、コンサート
	ロビー、ワークショップルーム、庭			酒博、オクトーバーフェスト梅酒版
	前庭、お城			小田原囲碁将棋部。格安の囲碁将棋所として囲碁などを文化として育てる。※平塚の「木谷」の好敵手の具清源が小田原在住なのに
	外、ロビー		全年齢	「笑いの効用を紹介するためのホールを活用」吉本など！小田原芸人育成 「林英哲(太鼓)盆踊り大会」和の芸術。十二常の舞 「小田原提携アートフェスタ、野外アート+造園+環境美術+ランドスケープ」いいね 「地域の老若男女が集結し各々の特技で親睦・交流」40才の成人式。60才の成人式
鑑賞事業	大ホール			映画祭でのWメインに。もう一つはTOHO
	大ホール		全国の若い人達とクラシックファン	「エヴァンゲリオンクラシックコンサート」 箱根、小田原ゆかりのエヴァの劇中曲をスターウォーズクラシックコンサートみたいにクラシックコンサートをやる。カルテットは必要
	小ホール		全市民	スーパープレゼンテーション、音楽講座(現代音楽、〇〇音楽)
	大スタジオ			スーパーサイエンス講座、音楽、パフォーマンス、科学実験講座
				「質の高い招へい事業(コンサート・歌舞伎・バレエ・ミュージカル・オペラ・ガラコンサート等)」こちらが主導ではなく、市民が本当に見たいと思っている人達を呼んでください 「TVの公開番組、収録」「NHKのど自慢」「BS日本のうた」「火曜8時のコンサート」 「フェスティバル」ダンスイベント！大人から子どもまで 「子ども対象事業」大人向けも 「伝統芸能」24時間ぶつとおし落語ライブ
にぎわい創出事業	ホール、スタジオ、前庭、お城			ゆるゆる歴史祭り。コミケ・コスプレ・クイズ大会・ゲーム大会・コスプレワーキング・イラスト展・武者絵・映画上映 アートフェス、アートマート、デザインフェスや井の頭公園のアートマートのようなもの
	全館		全市民	ホールオープンデー。まるごと紹介。メイン企画+市民企画。ピアノを1回1,000円で弾けるとか。
	全館			小田原市民感謝デー(まだ具体案はないのですが)
	前庭、お城			(小田原大茶大会)単なる野点の茶会ではなく、近隣のカフェやケーキ屋などに城内に喫茶を点在させ、お茶やコーヒーを楽しんでもらうながら城めぐりをしてもらう
施設提供事業				「ホール、お堀端通り、二の丸広場一体型の空間を楽しめる催し」お化け(日本版ハロウィン)
	大スタジオ		大ホールで公演するオケのため	大ホールでの公演の前に最後のリハーサルに大スタジオを利用したい(例、小田原フィル、こゆるぎ座)
	大スタジオ		大ホールを利用する人達	大ホールを利用(出演)する人達の控室やリハーサルのために利用する(ブラスバンドの大会)
	どこでも		全年齢	どこでも映画祭。市民ホールの至るところを使用しての上映会。旧作、ショートフィルム、トークセッション
	前庭とお城			秋のちょうちん祭り。かまくらぼんぼり祭や赤岡絵画のようなやつ
カフェ			イベント関連メニュー提供。特にギャラリーでの催しに関連させるとギャラリーは数日間開催するので人の流れがつかれそう。Ex. 文化村	
大ホール、小ホール、その他			ガンダム興し。ジオラマ展、イラスト展、クイズ大会、映画上映、コスプレ、その他	

*1班、2班ともに、グレーの部分が「事業アイディアシート」に書かれた内容です。